

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で11,100cells/ml、シャットネラ属が最高で2cells/ml、ディクチオカ・フィビュラが最高で250cells/ml確認されました。

**カレニア・ミキモトイは鳴無、中学校前、大鹿の観測点で被害が想定される細胞密度になっています。**

対してシャットネラ属は、今回、被害が想定される細胞密度になった観測点はありませんでした。

引き続き慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	ディクチオカ・フィビュラ	珪藻類
中学校前	0m	1	0	0	2,700
	2m	11,100	0	60	750
	5m	380	0	60	500
目ノクソ	0m	1	0	0	3,400
	2m	4	0	4	1,300
	5m	90	0	30	50
光松	0m	1	0	0	1,000
	2m	4	0	9	5,200
	5m	178	0	10	1,100
大鹿	0m	0	0	0	1,900
	2m	2	0	4	4,700
	5m	380	0	20	3,000
水試小割前	0m	1	0	0	3,000
	2m	6	0	1	2,700
	5m	3	0	0	200
鳴無	0m	6,000	0	10	
	2m	3,100	0	250	
	5m	17	2	33	
中学校前(北)	2m	1	0	4	



**漁業被害が想定される細胞密度**

- ・カレニア・ミキモトイ：  
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属：  
10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・ディクチオカ・フィビュラ(へい死)：  
赤潮発生時

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>